

## 平成28年4月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
4月	17日	油流出	三和区水吉地内	個人宅	灯油 100リットル	-	<p>強風により飛ばされた網戸がホームタンクのパルブに当たり、油が漏洩したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、敷地内で地下浸透していた。道路側溝には、油膜は無かった。</p> <p>本件について、付近に飲用井戸がないことを確認した上、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
4月	21日	油流出	上千原地内	車両	油 不明	農業用排水路	<p>交通事故により車両から油が漏れて農業用排水路に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をしたところ、農業用排水路で少量の油膜を確認。その地点の上・下流には油膜は無かった。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し対応を終了した。</p>
4月	26日	油流出	柿崎区柿崎地内	学校	灯油 不明	-	<p>地下タンクから校舎屋上タンクへ灯油を配送する露出配管の亀裂部分から油が漏洩したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、配管の周囲の土壌表面に浸透していた。側溝には、油膜は無かった。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成28年5月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
5月	1日	油流出	高土町2丁目地内	個人宅	灯油 (推定)5~10 リットル	道路側溝	住宅周辺の片付け作業中に誤ってホームタンクを倒し、油が流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、隣地内の雨水側溝及び道路側溝に油膜を確認。油吸着マットで回収した。 本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。
5月	11日	油流出	川原町地先 (保倉川・古城橋 と関川の合流地 点の間)	作業船	ガソリン (多くても) 6~7リットル	保倉川 関川	作業船が転覆し、燃料が流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をしたが、流出量が少量であるとともに、強風で川面が波立っていたことから油膜は確認できなかった。 本件について、健康・環境被害は無いと判断し対応を終了した。
5月	30日	油流出	下源入地内	車両	エンジンオイル 不明(少量)	道路側溝	交通事故により車両から油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認。油吸着マットで回収した。 本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。

## 平成28年6月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
6月	9日	油流出	直江津港内	貨客船	作動油 50リットル程度	直江津港	左舷トリムタブ作動用の油圧ホースが脱落したことにより作動油が流出した。原因者がオイルフェンスを設置して拡散を防いだ上、油吸着マットによる回収を実施。その後、小型ボートによる見回りの結果、油膜等は確認されなかった。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。
6月	28日	油流出	頸城区下吉地内	車両	ガソリン (推定)0.5 リットル	道路側溝	交通事故により車両(原付バイク)から油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認。油吸着マットで回収した。 本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。

## 平成28年7月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
7月	15日	油流出	頸城区手島地内	橋上に不法 投棄された ペール缶	不明 (推定) 2~3 リットル	用水路	用水路に架かる橋に不法投棄されたペール缶が腐食し、破損した箇所から油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認した結果、用水路に油膜を確認。水門を閉じて被害拡大を防いだ上、油吸着マットで回収した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。
7月	27日	油流出	御殿山町地内	個人宅	灯油 10リットル程度	道路側溝	前日の大雨により床下浸水した際、車庫に置いていたポリ容器が浮いて倒れ、栓をしていなかった口から灯油が流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をしたが、水の引くスピードが速く、油膜は確認できなかった。周囲には油の臭いが漂っていたことから、念のため道路側溝に油吸着マットを設置したが、油は無かった。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。

## 平成28年8月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
8月	5日	油流出	西城町3丁目地内	個人宅	エンジンオイル (推定) 2~3 リットル	道路側溝、水路、 青田川、儀明川	<p>青田川に油が浮いているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、西城町3丁目地内の個人宅でエンジンオイルの交換作業中に誤ってオイル缶を倒し、油を流出させてしまったことが判明した。発生地の道路側溝から青田川までの公共用水域に油膜を確認したため、道路側溝及び水路内に油吸着マットを、水路と青田川の合流点及び儀明川にオイルフェンスを設置し、被害拡大を防いだ。</p> <p>8/9までに、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットとオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
8月	13日	油流出	吉川区下町地内	車両	車両用オイル (推定) 1リットル	農業用水路	<p>交通事故により農業用水路へ転落した車両から油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、農業用水路に油膜を確認。農業用水路内に油吸着マットを設置した。</p> <p>8/14、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成28年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	2日	油流出	新光町1丁目地内	事業場	食用油 10リットル 程度	用水路	<p>用水路に油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、用水路に油膜を確認。また、油流出の原因は、事業場で食用油の廃油缶を誤って倒したことと判明した。用水路の管理者と原因者が回収作業を行った。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
9月	7日	油流出	高和町地内	車両	軽油 100リットル 程度	道路側溝	<p>トラックがグレーチングを跳ね上げて燃料タンクを破損させ、軽油が道路側溝に流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認。原因者が回収作業を行った。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
9月	13日	油流出	桜町地内	不明	軽油(推定) 不明	道路側溝	<p>桜町地内の路面に油膜が広がっているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、路面及び道路側溝に油膜を確認。道路管理者が回収作業を行った。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
9月	15日	油流出	上門前地内	車庫	軽油 30~40リットル	道路側溝、 北の川、前川、 用水路、 法定外水路	<p>車庫から油が流出しており、路面に油膜が広がり、さらには北の川にも流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、車庫周辺の水域に油膜を確認。油吸着マットを設置した。また、油流出の原因は、原因者がホームタンクから軽油を小分け中にその場を離れたことと判明した。</p> <p>9/16、現地確認の結果、油膜は見られなかったことから油吸着マットを撤去。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成28年9月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
9月	20日	油流出	中央3丁目地内	倉庫	エンジンオイル 1リットル弱 (推定)	道路側溝、関川	<p>関川左岸にある中央第一排水樋管から油らしきものが流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、当該樋管に通じる道路側溝に油膜を確認。また、油流出の原因は、倉庫に駐車中の車両からエンジンオイルが漏洩したものと判明した。漏洩の原因は不明。当該樋管にオイルフェンスと油吸着マットを設置し、被害拡大を防いだ。また、降雨により路面の油膜が道路側溝に流出したため、側溝内にも油吸着マットを設置した。</p> <p>9/21までに、油膜が無いことを確認しながらオイルフェンスと油吸着マットを順次撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
9月	20日	油流出	(木田1丁目地内)	不明	灯油(推定) 不明	道路側溝、水路、関川	<p>水路に油が流出しているとの通報を受け、市が現地確認をした結果、水路に油膜を確認。この時点で上流からの新たな流出は無かった。また、降雨により水量が多く、水流も速いため、応急措置は困難な状況であった。</p> <p>9/21、現地確認をした結果、油膜は無かった。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成28年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	10日	油流出	春日山町3丁目 地内	車両	不明 2リットル (推定)	道路側溝	<p>交通事故により車両から油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認したため、油吸着マットを設置した。路面上の油については、原因者が回収した。</p> <p>11/14、現地確認の結果、油膜は見られなかったことから油吸着マットを撤去。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
11月	16日	油流出	新保古新田地内	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝、 用水路	<p>交通事故により車両から油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝及び用水路に油膜を確認したため、油吸着マットを設置した。</p> <p>11/17、現地確認の結果、油膜は見られなかったことから油吸着マットを撤去。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
11月	19日	油流出	中郷区江口地内	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝	<p>住宅火災を受け炎上した乗用車から油が漏れて道路側溝に流出したとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認したため、油吸着マットを設置した。</p> <p>11/21、現地確認の結果、油膜は見られなかったことから油吸着マットを撤去。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成28年11月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
11月	27日	油流出	安江2丁目地内	個人宅	灯油 30リットル (推定)	道路側溝	<p>ホームタンクから灯油を小分け中にその場を離れ、道路側溝へ流出させたとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認したため、油吸着マットを設置した。</p> <p>12/1、原因者が現地確認をした結果、油膜は見られなかったことから油吸着マットを撤去。健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成28年12月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
12月	7日	河川等の 白濁	(青田川 高土橋)	不明	不明 不明	水路、青田川	<p>青田川が白濁しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、東本町3丁目地内を流れる水路から白濁した水が青田川へ流出していることが分かった。無臭でぬめり等も無かったが、結果として流出物・量は不明である。当日の内に白濁した水の河川への流出はなくなった。</p> <p>その後、水路や河川の白濁や魚類等のへい死が見られなかったことから、本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
12月	15日	油流出	大町1丁目地内	解体建物 (ボイラー 配管)	灯油 不明	道路側溝、 流雪溝、 青田川	<p>青田川に油らしいものが流れているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、大町1丁目地内における建物の解体工事中に、ボイラー配管にあった灯油を流出させたことが分かった。道路側溝及び流雪溝に油吸着マットを、青田川の市之橋付近にオイルフェンスを設置した。</p> <p>12/19、現地確認の結果、油膜は見られなかったことから油吸着マット及びオイルフェンスを撤去。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
12月	21日	油流出	御殿山町地内	個人宅	灯油 1リットル (推定)	道路側溝	<p>ホームタンクの水抜きバルブ付近から漏れていた灯油を水で流して道路側溝に流出させたとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認。油吸着マットによる除去作業を行った。</p> <p>本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成29年1月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
1月	18日	油流出	稲荷地内	個人宅	軽油 60リットル (推定)	道路側溝、 内川、 矢代川	<p>矢代川に油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、原因は、稲荷地内の個人宅でホームタンクから軽油を小分け中にその場を離れたためと判明した。道路側溝に油吸着マット、内川にオイルフェンスを設置し、被害拡大を防いだ。</p> <p>1/27、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットとオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成29年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	7日	油流出	下吉野地内	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝、 水路、 桑曽根川	<p>縁石に乗り上げてオイルパンを破損させた車両から、油が道路側溝や水路に流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝、水路、桑曽根川に油膜を確認。道路側溝と水路に油吸着マットを、桑曽根川にオイルフェンスを設置し、被害拡大を防いだ。</p> <p>2/10、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットとオイルフェンスを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
2月	15日	油流出	頸城区市村地内	個人宅	灯油 150リットル (推定)	水路、 潟川、保倉川	<p>水路に油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、水路、潟川、保倉川に油膜を確認。水路に油吸着マットを設置するとともに、保倉川との合流点にある潟川水門を少し閉め、被害拡大を防いだ。</p> <p>原因は、頸城区市村地内の個人宅でホームタンクから灯油を小分け中にその場を離れたことと判明した。</p> <p>2/17、念のため水路に設置してある油吸着マットから下流域には油が流出していない状況であることから、潟川水門を全開にした。その後、3/1に油膜が無いことを確認した上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成29年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	16日	油流出	福橋地内	車両	エンジンオイル 不明	道路側溝、 水路、 重川、保倉川	<p>保倉川に油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、福橋地内の駐車場から油が流出しており、道路側溝、水路、重川、保倉川（マリーナ上越泊地含む）に油膜を確認。道路側溝・水路に油吸着マットを、重川とマリーナ上越泊地出入り口にオイルフェンスを設置するとともに、重川との合流点にある重川水門を少し閉め、被害拡大を防いだ。</p> <p>原因は、原因者が管理している駐車場でトレーラーのエンジン部ターボが故障した際、エンジンオイルが漏洩。通報当日、漏れた油が浸透していた雪が解け、流出したことと判明した。</p> <p>2/20・21、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットとオイルフェンスを撤去し、重川水門を全開にした。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
2月	23日	油流出	大字寺町地内	個人宅	灯油 1リットル未満 (推定)	道路側溝、 水路	<p>寺町町内会から、2/22に町内の個人宅のホームタンクから灯油が漏れているのを発見し、公共用水域に流出しないよう敷地に油吸着マットを設置したとの通報を受け、市が確認した結果、道路側溝と水路に油膜を確認。敷地内と道路側溝、水路に油吸着マットを設置し、被害拡大を防いだ。</p> <p>原因は、ホームタンクを覆っていたシートが強風により剥がれた際、レバーに引っかかり、蛇口を開けてしまったことと判明した。</p> <p>2/28、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成29年2月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
2月	23日	油流出	五智1地内	旧工場	潤滑油 不明	道路側溝、 天王川、関川	<p>天王川に油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、五智1地内の旧工場敷地内に置かれた、錆びた一斗缶の下部側面に入った亀裂から油が流出しており、道路側溝、天王川、関川に油膜を確認。道路側溝に油吸着マットを、天王川に油吸着マットとオイルフェンスを設置するとともに、関川との合流点にある天王川排水樋管を全閉した上、バキューム車で吸引し、被害拡大を防いだ。</p> <p>天王川におけるバキューム車による吸引作業は通報当日に終了し、天王川排水樋管を全開にした。</p> <p>2/24、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
2月	28日	油流出	五智1地内	車両	ガソリン 10~15リットル (推定)	道路側溝	<p>グレーチングを跳ね上げてガソリントankを破損させた車両から、油が流出しているとの通報を受け、市及び関係機関が現地確認をした結果、道路側溝に油膜を確認。道路側溝に油吸着マットを設置し、被害拡大を防いだ。</p> <p>3/3、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成29年3月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合 は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
3月	2日	油流出	五智1丁目地内	個人宅	灯油 150リットル (推定)	道路側溝	<p>自宅のホームタンクが空になっているとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認した結果、当該個人宅前の道路側溝への油の流出を確認した。側溝に油吸着マットを数か所設置し、側溝下流への被害拡大を防いだ。</p> <p>3/15、油膜が無いことを確認した上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>
3月	11日	油流出	藤新田1丁目地内	個人宅	灯油 200リットル (推定)	水路 正善寺川	<p>3/10に給油し200リットルとした自宅のホームタンクが空になっているとの通報を受け、市及び関係機関が現場を確認し、当該個人宅に接する農業用水路への油の流出を確認した。発生源から正善寺川との合流点までの間に油吸着マットを数か所設置し、正善寺川への流入を防ぎ、被害の拡大を防いだ。その後、必要に応じて油吸着マットの交換を行った。</p> <p>3/16、発生源の個人宅から正善寺川への合流点までを点検し、油膜が無いことを確認の上、油吸着マットを撤去した。本件について、健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。</p>

## 平成29年3月に通報のあった水質事故について

通報日		事故の種類	発生地 (発生地不明の場合は発見地)	発生源	流出物 流出量	河川名等	事故の概要
3月	28日	不凍液の流出	頸城区上吉地内	事業場	プロピレングリ コール 1,940 リットル (推定)	雨水排水路	3/27に事業場内の配管のクラックからドレンへの不凍液の流出を確認し、関係機器を停止するとともに、ドレンから事業所内の排水管への流出を停止した。(毎時約7.3リットルの流出速度と推定) 当該事業所は毎時10,000リットル以上の工場排水を排出しているため、流出した不凍液は大幅に希釈されており、周辺の公共用水域で異常水質の情報はない。このことから、本件について健康・環境被害は無いと判断し、対応を終了した。